

Cisco Content Engine (Cache software)

コンテンツ配信の高速化を実現する Cisco Content Engine



Content Engine 7300 シリーズ



Content Engine 500 シリーズ

Cisco Content Engine は、コンテンツ配信を高速化するコンテンツ ネットワーキング製品です。この製品によって、コンテンツ ボリュームの拡大や利便性の向上を最大限に実現します。Cisco のキャッシング技術に Sightpath 社および Tasmania Network Systems 社の技術を融合した新しい Cisco Content Engine は、Cisco IOS インフラストラクチャのパワーをさらに高め、幅広いコンテンツ サービス提供に貢献いたします。

主な特徴

Cisco Content Engine(キャッシング ソフトウェア)は、様々なサービスを提供します。

WAN 帯域幅の使用量を節約 / 効率化。

コンテンツ配信の高速化により Web アクセスに対するレスポンス向上を実現

Websense との連携により業務の支障となるような Web コンテンツを遮断可能。

サーバの負荷軽減。

拡張コンテンツ サービス

トランスペアレントキャッシング

Cisco Content Engine は、アクセス頻度の高いコンテンツを透過的にキャッシングすることで、エンドユーザへの高速コンテンツ配信を実現します。インターネットやイントラネットを

通じて遠隔地のサーバファームにアクセスすることなく、ローカルのコンテンツ要求を満たすことを可能にしました。このソリューションにより、ネットワーク上の制御不可能な部分がボトルネック状態に陥ることを防ぎ、コンテンツ配信の高速化を実現します。サービス プロバイダーによる高品質サービスの提供や、企業の生産性の更なる向上を可能にします。ストリーミング メディアや Web コンテンツをキャッシングすることにより、Cisco Content Engine は、WAN リンクを通過する冗長ネットワークトラフィックを最小限に抑えます。その結果、WAN 帯域幅の使用を減少させ、その増加率を押さえる効果が期待できます。このような帯域幅の最適化により使用可能なネットワーク容量が増大するため、ユーザーやトラフィックの追加、そして音声などの新しいサービスの追加が可能となります。帯域幅の節約率は、通常 25% から 60% に達します。

ライブ ストリーミング メディアのスプリッティング

Cisco Content Engine は、ライブ ストリームをスプリット(分割)し、WAN 帯域を有効活用することができます。Content Engine は、WAN 上の1本のライブ ストリームを受け、それをユニキャスト、またはマルチキャストの手法で複数のダウンストリームとして配信します。

リバース プロキシキャッシング

Cisco Content Engine をセンタ側のサーバファームに配

置することで、レスポンスを飛躍的に向上させます。コンテンツに対するインバウンド要求のキャッシングまたはストリーム分割により、サーバからの膨大な量のトラフィックや TCP コネクションをアンロードしサーバ負荷を大幅に軽減することができます。

コンテンツのフィルタリング

Cisco Content Engine を、Websense Enterprise 社のソフトウェアと連携させることで、不適切なWebコンテンツをフィルタリングすることが可能です。これにより管理者は、従業員が業務に支障をきたすようなコンテンツにアクセスしないよう監視や管理を行えます。その結果、企業の生産性が向上すると共に、帯域幅の使用率を低下させることができます。

主な機能

Real Networks RealSystem Proxy 8 によるキャッシングとストリームスプリッティング機能

Web(HTTP 1.0/1.1)キャッシング、FTP プロキシ、HTTPS トンネリング、ICP

Websense サポートによるコンテンツのフィルタリング

Web コンテンツの事前配信

さまざまな拡張トランスペアレントキャッシング技術

- オーバーロード バイパス:トラフィック量が Content Engine の容量を越えた場合のボトルネック化を防ぐ
- ダイナミック クライアント バイパス:クライアントからの直接のオリジン サーバ接続を選択的に許可することによりソース IP 認証問題を回避
- ルール テンプレート:キャッシング ポリシー やルールを柔軟に作成。
例:“ 非キャッシング ” ポリシー、更新ポリシー、アップストリーム用プロキシの選択ルール
- WCCP フロープロテクション:Content Engine のクラスタへの追加、またはクラスタからの削除により WCCP クラスタの負荷分散状況が変化した場合でも、既存のフローに影響を与えない
- WCCP スロースタート:新しい Content Engine が負荷の大きいクラスタへ追加された場合でも、スロースタートすることでクラスタを安定的に保持

WCCPv2(Web Cache Communication Protocol v2)の特徴

- 拡張性の高いクラスタ構成が可能、フルトトレランス(耐障害性)、コンテンツトラフィックを透過的に受信

Cisco CSS 11000 コンテンツ スイッチとの連携

- リバース プロキシ キャッシング、フラッシュ クラウド プロテクション、インテリジェント キャッシュ バイパス

管理用 Web GUI および Cisco IOS CLI

トランザクションログの収集と送信

優れた拡張性と業界最高の密度

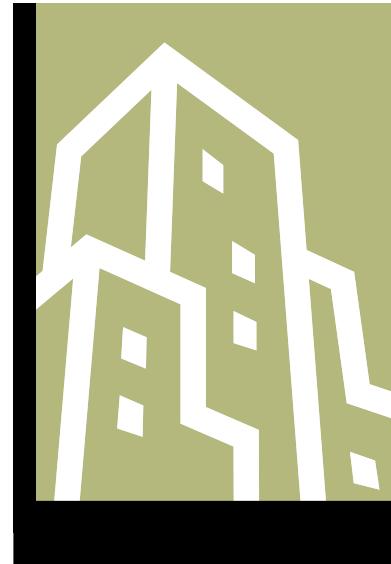
新しい Cisco Content Engine 製品群は、サービス プロバイダーの Super PoP レベルから小規模オフィスレベルまでをカバーします。これらの製品は業界最高の密度(1 ラック ユニットあたりのパフォーマンス)を実現し、ラック スペースのコストを最小限に抑えます。

各ソリューションは、それぞれ異なるネットワーク環境に対応する設計となっています。

対象	ソリューション	HTTP 性能	ストレージ	ベース・ラック・ユニット
大規模サービス プロバイダー	Content Engine 7320 *	155 Mbps 以上	180 ~ 396 GB	7
サービス プロバイダー、大企業	Content Engine 590 *	45 Mbps 以上	36 ~ 144 GB	1
地域オフィス	Content Engine 560 *	20 Mbps	36 ~ 144 GB	1
小規模オフィス	Content Engine 507	T1/E1	18 ~ 36 GB	1

*:処理性能の最適化には、外付けの Cisco ストレージ アレイが必要です。

WCCPv2 または Cisco CSS 11000 シリーズにより各 Content Engine をクラスタ化することで性能が向上し、リニアな拡張性が得られます。





製品番号

製品番号	製品説明
CE-7320	Content Engine 7320(AC電源)
CE-7320-DC	Content Engine 7320(DC電源)
CE-590	Content Engine 590(AC電源)
CE-590-DC	Content Engine 590(DC電源)
CE-560	Content Engine 560(AC電源)
CE-507	Content Engine 507(AC電源)
CE-DISK-18GB-507-X	Content Engine 507 追加用の18 GB Ultra2 SCSI ディスクドライブ

ハードウェア オプション

Content Engine 7320、7320-DC、590、590-DC、および 560 のハードウェア構成は固定です。基本モデルの Content Engine 507 には、1 基の18 GB Ultra2 SCSI ディスクドライブを搭載していますが、追加ストレージ用にもう 1 基の 18 GB Ultra2 SCSI ディスクドライブ (CE-DISK-18GB-507-X) を搭載することができます。

ソフトウェア・オプション

Real Networks RealSystem Proxy 8

製品番号	製品説明
SF-CE7320-RNP-8.0	CE-7320 用 RealSystem Proxy 8
SF-CE590-RNP-8.0	CE-590 用 RealSystem Proxy 8
SF-CE560-RNP-8.0	CE-560 用 RealSystem Proxy 8
SF-CE507-RNP-8.0	CE-507 用 RealSystem Proxy 8

WCCP(Web Cache Communication protocol)サポート情報

WCCP(Web Cache Communication protocol)は、以下の Cisco プラットフォーム上で動作する Cisco IOS ソフトウェアのフリーウェア機能です。

7x00、uBR72xx、6400/NRP、Catalyst 6x00/MSFC、Catalyst 5x00/RSM、AS5800、AS5300、4x00/M、MC3810、3600、2600、2500、1700、1600

WCCPv2 対応 Cisco IOS バージョン:12.1、12.0(3+)T、12.0(11+)S

WCCPv1 対応 Cisco IOS バージョン:12.1、12.0、12.0T、12.0S、11.1(18+)CC/CA、11.2(13+)P



ハードウェア仕様

	CE-7320(AC/DC)	CE-590(AC/DC)	CE-560	CE-507	CE 507AV
HTTP性能	155Mbps以上	45Mbps以上	20Mbps以上	T1/E1	T1/E1
SDRAM	2GB	1GB	512MB	256MB	256MB
最大ストレージ	396GB	144GB	144GB	36GB	18GB
内蔵ストレージ Ultra2 SCSI)	10基の18 GBドライブ	2基の18GBドライブ	2基の18GBドライブ	1基または2基の18GBドライブ	1基の18GBドライブ
ストレージ・レーのサポート	ストレージ・レー12	ストレージ・レー6	ストレージ・レー6	なし	なし
ネットワーク・インターフェース	2ポートの100BaseSXおよび 4ポートの10BaseT/100BaseTX	2ポートの10BaseT/100BaseTX	2ポートの10BaseT/100BaseTX	2ポートの10BaseT/100BaseTX	2ポートの10BaseT/100BaseTX
フラッシュ・メモリ	128MB	16MB	16MB	16MB	16MB
電源	(n+1)AC/(n+1)DC	AC/DC	AC	AC	AC
寸法および重量					
高さ	30.5cm(12.25インチ)	43.7mm(1.72インチ)	43.7mm(1.72インチ)	43.7mm(1.72インチ)	43.7mm(1.72インチ)
幅	44cm(17.5インチ)	444.5mm(17.5インチ)	444.5mm(17.5インチ)	444.5mm(17.5インチ)	444.5mm(17.5インチ)
奥行き	71.2cm(28インチ)	358.8mm(14.1インチ)	358.8mm(14.1インチ)	358.8mm(14.1インチ)	358.8mm(14.1インチ)
重量	52.2kg(115ポンド)	5.7kg(12.5ポンド)	5.7kg(12.5ポンド)	5.1kg(11.2ポンド)	5.4kg(12ポンド)
電源および電流値:AC					
汎用入力電圧	100 ~ 240VAC	100 ~ 127、200 ~ 240VAC	100 ~ 127、200 ~ 240VAC	100 ~ 127、200 ~ 240VAC	100 ~ 127、200 ~ 240VAC
周波数	47 ~ 63Hz	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz	50 ~ 60Hz
最大電力	各320W:3(n+1)電源	130W	130W	130W	130W
電流値	各最大5A:3(n+1)電源	最大2A	最大2A	最大2A	最大2A
電源および電流値:DC					
汎用入力電圧	-40 ~ 60VDC	-40 ~ 60VDC	-	-	-
最大電力	各320W:3(n+1)電源	130W	-	-	-
電流値	各14A:3(n+1)電源	4.5A	-	-	-
動作環境	CE7320(AC/DC)	CE590(AC/DC)	CE560	CE507	CE597AV
動作時温度	10 ~ 35°C(50 ~ 95°F)	0 ~ 45°C(32 ~ 113°F)			
非動作時温度	-40 ~ 65°C(-40 ~ 149°F)	-25 ~ 70°C(-13 ~ 158°F)			
湿度(結露しないにと)	80%	95%RH(非動作時)			
動作時の標高限界	3,048m(10,000ft)	40°C(104°F)において3,000m(9,843ft)			
非動作時の標高限界	10,600m(35,000ft)	25°C(77°F)において4,750m(15,000ft)			
動作時耐衝撃性	41G、2ms、パルス	5G、11ms、半正弦波衝撃パルス			
非動作時耐衝撃性	71G、2ms、パルス	20G、11ms、半正弦波衝撃パルス			
動作時許容振動	3 ~ 200Hzにおいて0.25G	5 ~ 10Hz 5db/オクターブのランダム振動、10 ~ 200Hz .0005G2/Hzのランダム振動 200 ~ 500Hz 5db/オクターブのランダム振動			
非動作時許容振動	3 ~ 200Hzにおいて0.5G	5 ~ 10Hz 5db/オクターブのランダム振動、10 ~ 100Hz .0065G2/Hzのランダム振動 100 ~ 500Hz 5db/オクターブのランダム振動			

©2001 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。

この資料の記載内容は2001年9月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せURL :<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL: 03-6670-2992

電話でのお問合せは、以下の時間帯で受付けております。

平日 10:00 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

お問い合わせ先